

要請番号 (JL00922A04)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
マレーシア	G238 料理		個別	新規	2年	・2022/4・2023/1・ 2023/2・2023/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

教育省

2) 配属機関名（日本語）

ダトウック・スリ・アブ・ザハール・イスニン職業訓練カレッジ

3) 任地（マラッカ州ジャシン） JICA事務所の所在地（クアラルンプール）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（鉄道+バスで約3.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は2000年に職業訓練高等学校として設立された後、2014年に職業訓練カレッジとして再編されたカレッジである。配属先にはビジネス学科、ホスピタリティ学科、情報通信技術学科が設置されており、16-19歳までの学生約550名、教員数約100名で運営されている。6ヶ月毎の2期制を採用しており、入学後最初の2年間の基礎課程修了後に各専門分野の高卒相当資格(職業訓練教育)を取得できる。また、進級試験に合格した後に更に2年間の専門課程・実習経験を積むと短大卒と同等資格(ディプロマ)を取得できる仕組みになっている。コロナ禍以降オンライン授業が展開されており、Google MeetやWhatsApp, Telegramなどのアプリが活用されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属するホスピタリティ学科の調理師コースは2015年に新設されたコースである。当該コースの講師数は10名、各学年の学生数は約25名、2-4学年計約70名である(コロナ禍により新規入学が一時中断している)。授業時数は毎週4時間、休憩時間を設けながら1日に5コマの授業を展開している。理論と実習の割合は2:8である。当該コースでは現地料理に加え、世界各国の料理を題材にした授業を展開している。日本料理では寿司や餅、てんぷらなどを題材として扱っている。講師は調理や家庭科の教員資格を有しているが、料理業界での実務経験とその技術が不足している。このため、現地食材を用いた日本料理の紹介、調理実習等を通じ、講師や学生に対し調理の基礎知識と技術力向上が強く求められ、本要請に至った。コロナ禍により実習実施の困難さに直面している。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

調理師コース講師らと協働し、主として下記の活動に取り組む。

- 自らの知識、実務経験を各関係者と共有し、野菜や魚介、肉の切り方などのアドバイスを授業内に取り入れる。
- 各国料理の食材準備や調理法、料理に適する切り方、料理の盛付けや配膳等に関するアドバイスと授業支援を行う。
- 現地で手に入るハラル食材を用いて、日本料理をはじめとした各国料理の調理の紹介や、適した調理器具についての提案を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

調理室3部屋(内2部屋は火を扱う調理室、1部屋は製パン・製菓用の調理室)、ガスコンロ、オーブン、レンジ、ミキサー、冷蔵庫は各業務用サイズ、調理台、一般的な調理器具・配膳器具多数有り

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:ホスピタリティ学科長(30代男性、学士、勤続年数6年)、調理師コース長(30代女性、学士、勤続年数10年)、講師10名(20-30代、男性2名・女性8名、学士)

活動対象者：調理師コース講師(20-30代男女10名)、学生(2-4学年約70名)

5) 活動使用言語

マレー語

6) 生活使用言語

マレー語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（調理師）

[学歴]：（専門学校卒）家政 備考：同僚とのバランス

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）3年以上 備考：配属先要望のため

[参考情報]：

- ・調理系の「専門学校卒」以上 必ず

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（25～35°C位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水源]：（安定）

【特記事項】

新型コロナウイルス感染症の感染状況等に応じ、活動内容は適宜配属先と調整する。

【類似職種】

・家政・生活改善

※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。